

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	X線突発天体の監視による重力波源の同定とブラックホール形成メカニズムの研究
研究代表者	米徳 大輔（金沢大学・理工研究域・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、重力波の検出と同期した「X線突発天体の発見・通報」を行うことで、世界初となる「重力波源の同定」を目指すものである。さらに、大学の教育プロジェクトとして開発を進めている超小型衛星プラットフォームを活用するという手法も高く評価される。これまで応募者は世界初となるガンマ線バーストからの偏光観測を実現するなど国際的に最先端の研究成果を発表している。本提案は、この研究を実現した装置開発の実績に裏付けされたものである。日本の重力波望遠鏡 KAGRA の価値を高める研究であると同時に、重力波の世界初の検出という時機を捉えた良い提案である。以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>